

令和元年度 建設交通部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>先進的な防災・減災対策と暮らしの安全対策の推進</p>	<p>①豪雨災害等に備え、危機管理体制を強化します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○府内全河川の浸水想定区域図の公表推進<R元：70河川> ○府内全箇所（土砂災害警戒区域）の指定を完了<未指定箇所は南丹市他299箇所> ○危機管理型水位計の設置<R元：58箇所> ○中小河川の新たなタイムラインの策定を支援するため、避難判断の目安となる水位を設定<R4までに128河川> ○大野ダムの事前放流実証実験等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・事前放流目標水位の段階的な引き下げに向けた実証実験の実施 ・放流連絡、放流警報及びダム情報ホームページについて内容の充実化 <p>②国や市町村と連携し、府内全域で総合的な治水対策やインフラ強靱化対策を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○桂川 <ul style="list-style-type: none"> ・嵐山地区の左岸溢水対策等、直轄管理区間の緊急治水対策を促進 ・保津工区の霞堤嵩上等、段階的な整備を位置付けた桂川上流圏域河川整備計画に基づき、計画的な河川整備を推進 ○由良川 <ul style="list-style-type: none"> ・築堤、宅地嵩上、輪中堤等、直轄管理区間の緊急治水対策を促進 ・福知山市における総合的な治水対策について、弘法川・法川の早期事業効果発現に向けて推進 ・国、府、市等が連携・協力し、河道内樹木の伐採や河道掘削、排水機能の向上検討等、支川の樋門閉鎖に伴う内水対策を推進 ・国道175号等、由良川緊急治水対策関連道路の整備 ○宇治川 <ul style="list-style-type: none"> ・天ヶ瀬ダム再開発を促進 ・国による大島排水樋門の整備着手等、木幡池の浸水対策を推進 ○木津川 <ul style="list-style-type: none"> ・堤防強化対策を推進

（注） 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 建設交通部 重点目標

重点事項	成果目標（注）
	<ul style="list-style-type: none"> ○府管理河川 <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を推進し、事前防災及び再度災害防止対策を着実に推進 ・高野川において事業間連携河川事業・下水道事業を活用し、舞鶴市と連携し、総合的な治水対策を推進 ・古川床上浸水対策特別緊急事業の整備推進 ・鴨川、四宮川、安祥寺川、園部川、福田川等、既往浸水箇所等の河川改修を推進 ・大井手川、煤谷川等、学研都市開発等に関連する河川改修を推進 ・七谷川の天井川区間の切り下げ等、天井川の改修を推進 ○下水道等による内水被害の軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・桂川右岸地域の浸水被害を軽減する「いろは呑龍トンネル」のR2年度末暫定供用に向け、工事を推進（呑龍ポンプ場工事及び公共下水道との接続工事の推進） ・府民ぐるみの「貯める」取組である「マイクロ呑龍：雨水貯留槽」の設置数増加に向け、市町と連携して推進 <目標：雨水貯留施設の設置 600基/年> ○土砂災害防止対策工事を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・福知山市谷河川等、平成30年7月豪雨における土砂災害発生箇所の保全対策の推進 ・長岡京市坂川、笠置町切山等、避難所等の保全対策の推進 ・京都市花尻川等、要配慮者利用施設の保全対策の推進 ・京都市音羽川・松室、舞鶴市天台川等、人家の多い箇所の保全対策の推進 ○緊急輸送道路等の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路にかかる橋梁の段差対策をはじめとする橋梁の耐震対策を推進 ・耐震改修促進計画で指定した緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進<R元：耐震診断10棟> ○道路法面の防災対策 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路、孤立集落が発生する可能性のある道路の法面防災対策を推進 ○建築物の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の耐震化を促進 <R元：耐震改修1,000戸> ○河川構造物の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ・天井川水路橋の耐震化推進 ○原子力発電所事故に対応する避難路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・原子力災害時避難路整備事業を活用し、舞鶴野原港高浜線、上杉和知線等、9路線を整備推進 ・原子力災害時避難円滑化モデル事業を活用し、京丹波三和線等、4路線を整備推進

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 建設交通部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>③京都技術サポートセンターと連携し、計画的にインフラ長寿命化を推進します</p> <ul style="list-style-type: none">○京都府公共施設等管理方針及び14施設の個別施設計画に基づき、計画的に点検、診断、保全を推進○インフラ長寿命化対策のため府民の気付きを活かす「府民協働型インフラ保全事業」も活用し、きめ細かな施設保全を推進○京都技術サポートセンターと連携し、橋梁の法定点検や補修設計、建築物の設計・積算など市町村支援を充実するとともに、1級土木施工管理技術講習等、受発注機関の技術者への研修を一層推進○下水道の老朽化対策の取組体制が脆弱な市町に対して、ストックマネジメント計画の策定を支援 <p>④地域を支える優良な建設業の確保育成を推進します</p> <ul style="list-style-type: none">○公共事業の計画的・効率的な執行と発注及び施工時期の平準化を推進○透明性・公平性を確保し、建設企業が適正な利潤を確保できる入札契約制度の適切な運用○地域活性化雇用創造プロジェクトを通じた建設産業の魅力発信を行うとともに、建設企業の生産性向上、建設労働者の処遇改善、担い手確保に係る取組を推進

（注） 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 建設交通部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	京都の力を引き出す基盤整備の推進	<p>①高速道路等のネットワークとアクセス道路の整備を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新名神高速道路 <ul style="list-style-type: none"> ・ R 5 の全線開通に向け、N E X C O 西日本の事業推進を支援 ○山陰近畿自動車道 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国直轄権限代行で事業中の大宮峰山道路の整備を促進 ・ ルート未定の網野～兵庫県境について、兵庫県、京丹後市と連携し、ルート検討を推進 ○京都縦貫自動車道 <ul style="list-style-type: none"> ・ N E X C O による一元管理等、運営の効率化、利用者サービスの向上に向け、国等との調整推進 ・ 園部～丹波間の4車線化等、N E X C O 西日本による機能強化を要請 ○京都都市圏のネットワーク強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 名神高速道路と第二京阪道路をつなぐ京南ジャンクションの都市計画決定及びN E X C O 西日本の早期事業着手を促進 ○インターアクセス道路等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新名神高速道路のR 5 供用開始にあわせ、アクセス道路となる宇治木屋線犬打峠、（都）宇治田原山手線、国道307号（市辺～奈島工区）等を推進し、山城総合運動公園城陽線（城陽橋）に着手 ・ 山陰近畿自動車道大宮峰山道路のインターアクセス道路となる大宮峰山インター線の整備を推進 ○「京都府将来道路ネットワーク検討委員会」において、新たな道路の中長期計画を策定 <p>②府内の拠点間を結ぶ幹線道路網の整備を推進・促進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道9号（福知山道路）、国道24号（寺田拡幅、城陽井手木津川バイパス）、国道27号（西舞鶴道路）、国道163号（精華拡幅）等、国直轄事業の促進 ・ 国道423号（法貴バイパス）、小倉西舞鶴線（白鳥トンネル）、綾部宮島線（肱谷バイパス）、（都）御陵山崎線等、地域をつなぐ幹線道路の整備を推進 ・ 学研都市の発展を支える道路である国道163号（木津東バイパス）及び（都）東中央線の年度内開通

（注） 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 建設交通部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>③高速鉄道網整備に向けた取組を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北陸新幹線 <ul style="list-style-type: none"> ・沿線市町村や関西広域連合等と連携した要請活動等、整備促進に向けた取組を実施 ・環境アセスメントにおいて、府域の環境保全上の課題を意見するとともに、慎重な調査と丁寧な地元調整を国、鉄道・運輸機構へ要請 ・受益と負担のあり方についての検討実施 ○日本海国土軸形成に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴を経て日本海に至る山陰新幹線の整備計画化へ向けた取組の推進 ○リニア中央新幹線 <ul style="list-style-type: none"> ・ルート選定と大阪までの早期開業に向けPR活動を行うとともに、国への働きかけを実施 <p>④京都舞鶴港の整備を推進し、日本海側拠点港として物流・人流・エネルギーの総合ゲートウェイを目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流 <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴国際ふ頭の機能強化を推進するため、第Ⅱ期整備の着手に向けた調査・手続きを推進 ・臨港道路和田下福井線の早期完成や国道27号西舞鶴道路の事業促進、臨港道路上安久線の早期工事着手に向け地元調整等を推進 ○人流 <ul style="list-style-type: none"> ・第2ふ頭の旅客専用ふ頭化に向け、大型クルーズ船（16万トン級）の係留可能性調査等により、受入体制の強化を推進 ○エネルギー <ul style="list-style-type: none"> ・エコ・エネルギーポート化に向け、港湾関係事業者や地元住民などの調整を推進

（注） 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 建設交通部 重点目標

重点事項	成果目標（注）
	<p><u>⑤もう一つの京都等、観光総合戦略を支える基盤整備を推進します</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○海の京都 <ul style="list-style-type: none"> ・国道 178 号（木津道路）等、「海の京都」周遊ルートの整備を推進 ○森の京都 <ul style="list-style-type: none"> ・園部平屋線（殿田）、綾部宮島線(肱谷バイパス)の事業推進 ○お茶の京都 <ul style="list-style-type: none"> ・京都八幡木津自転車道線の事業推進 ○京都・かぐや姫観光 <ul style="list-style-type: none"> ・（都）御陵山崎線（Ⅲ工区）の事業推進 <p><u>⑥地域の開発を支えるため、下水処理施設の機能強化を図ります。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新名神関連や学研地区の開発による汚水量増加に対応するため、R3 完成に向け、洛南浄化センター E 1 系水処理施設増設工事を推進

（注） 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 建設交通部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>住みやすく活力あるまちづくりを支える生活基盤の整備</p>	<p>① 日常生活を支える安全・快適な道路整備を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無電柱化 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府無電柱化推進計画を策定 ○自転車通行環境 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府自転車活用推進計画を策定 ○市街地内等の道路 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者交通安全対策等を推進 ○園児等交通安全緊急対策等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策を推進するとともに、未就学児施設等の施設外活動における交通安全上の不安な箇所等に対しても、関係機関と共同で緊急点検を実施し、安全確保に必要な対策を実施 <p>② JR 奈良線、山陰本線等、鉄道網の整備と地域交通の確保を促進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道網の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・JR 奈良線高速化・複線化第二期事業を推進するとともに、関連駅舎整備や関連公共事業（向島宇治線の道路改良、戦川及び新田川の河川改修）を推進 ・山陰本線や関西本線における IC カードの導入促進など、沿線自治体と連携して利用促進施策を推進 ・山陰本線や片町線の複線化等、速達性向上に向け、国及び JR 西日本と協議の実施 ○生活交通の維持・確保と地域に適した交通システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・過疎地等において公共交通空白地の解消に向けた持続可能な地域交通システム構築の推進 <p>③ 京都丹後鉄道の利用促進と安心・安全な基盤整備を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老朽車両を更新し新車両を導入＜1両＞ ○施設の老朽化対策等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・トンネル点検及び緊急輸送道路を跨ぐ橋梁について耐震点検を実施 ・鉄道施設の整備・更新等、鉄道事業再構築実施計画の着実な推進 ○災害復旧事業と防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業による防災工事の着実な実施

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 建設交通部 重点目標

重点事項	成果目標（注）
	<p>④鉄道駅舎や歩道など、公共施設のユニバーサルデザイン化を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道駅舎におけるエレベーターやスロープ、ホームドア、内方線付き点字ブロックの設置等、安全対策を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ J R 黄檗駅、桃山駅、山崎駅、西大路駅、近鉄伊勢田駅、京阪鳥羽街道駅の 6 駅で段差解消等実施 ・ J R 京都駅ホームドア整備推進 ○通学路の安全確保のための歩道整備や歩道のバリアフリー化を推進 <p>⑤子育て世帯等、多様な世帯が共生できる住宅セーフティネットの構築を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て環境日本一を支える子育て世帯向け住宅の提供の推進< R 元: 1 2 0 戸 > ○住民サービス向上を目指した、府営住宅への指定管理者制度の導入の推進 < R 元乙訓・南丹地域の検証、R 2 京都地域への導入 > ○府営住宅の入居希望者の円滑な入居を図るための入居基準の改善（連帯保証人制度の改善検討） ○府営住宅向日台団地建替に向け、地域と連携したまちづくりを目指した立地施設を検討 <p>⑥府民のレジャーや健康づくりに役立つ公園整備を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宇治公園塔の島地区再整備の完成 ○山城総合運動公園アイスアリーナの供用開始 ○鴨川公園葵地区の整備推進 ○木津川運動公園北側区域の整備方針検討 <p>⑦水洗化の推進と汚水処理事業の持続的運営を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水洗化総合計画 2015 に基づき、汚水処理の概成に向け、下水道の整備を推進するとともに、浄化槽の普及を支援< H26 年度末 97. 2%→R 2 年度末 98. 9% > ○府内の汚水処理事業の効率化に向け、市町村とともに広域化・共同化の検討を推進 ○下水道事業において、省エネルギー型設備の導入や効率的な運転管理をさらに進めるとともに、下水汚泥の固形燃料化などエネルギーの有効利用を図り、C O₂ 排出量を削減

（注） 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。